



土木費

国道179号線及び主要地方道加茂奥津線、同湯原奥津線、同鏡野久世線、同久世中和線並びに県道山城宮尾線を始めとする県道9路線について、岡山県に協力し、早期完成に向けて事業推進に努めました。



消防費

津山圏域消防組合と消防団の相互協力のもと、多種多様な災害の防止を図りました。消防団においては、津山圏域消防組合管内で火災が多発する中、町内での広報活動など防火対策を重点的に取り組みました。



教育費

2園の幼稚園と8校の小学

校及び4校の中学校において、基礎基本の学力の定着と人格形成への教育を進めてまいりました。

なかでも、近年増加傾向にあります軽度発達障害児や自閉症児といった障害児教育の充実を図るため、特殊学級の施設整備を行いました。

国体につきましては、第60回国民体育大会「晴れの国おかやま国体」が県内各所で開催され、わが町でも鏡野地区で正式競技の成年女子ハンドボール競技が、奥津地区ではデモンストレーションとしてウォークラリーとスポーツ芸術、上齋原地区ではスキー競技がおこなわれました。各地区とも住民の方々の絶大なるご支援をいただき、大成功のうちに大会を終えることができました。



災害復旧費

農林水産施設災害復旧費では、平成18年1月羽出の平成16年林地災害箇所から土石の流出により民家の危険が予測されたため、大型土嚢による応急工事を実施しました。また、平成16年23号台風により越畑地区の山林内堰堤に土砂

堆積しているための浚渫^{しゅんせつ}工事は平成18年度に繰越としました。



公債費

22億6618万1千円で前年度に比べ4889万円(2.2%)の増となっており、これは平成15年度に施工した大型単独事業に伴い借入れた起債の元金償還が始まったことなどによるものです。

特別会計

1 津山・富線共同バス運行事業特別会計

津山・富間の3市町共同で地域住民の交通の便を確保するため、引き続き路線バスの運行を行いました。津山市内への通学、通院者の利用増に努めました。

2 奨学会特別会計

平成17年度の実績は、「石田奨学会」が償還2名、継続貸与1名、「松本奨学会」が償還2名、「上齋原奨学会」が償還13名、貸与10名でした。

3 飲料水供給施設等特別会計

合併により施設が増え、更に各施設の特性、維持管理頻度の違いが目を追う毎に明らかになりましたが、各給水区域に対し清浄で良質な水を低廉に安定供給できるよう各セクターと協力して努めました。

4 越畑飲料水供給施設特別会計

有収率の向上と適正運営に努め、剰余金を計上しました。

5 国民健康保険特別会計(事業勘定)

加入者の全体の伸び率は減少傾向で、その内容は若人・老人が減少し、退職被保険者が増加の傾向にあるものの、老人の割合は40.77%で依然として多くなっています。

6 国民健康保険特別会計(直営診療施設勘定)

合併により、3ヶ所の内科診療所と2ヶ所の歯科診療所があり、鏡野町国保病院を中核病院として連携をとりながら運営をしています。

診療報酬では、対前年度比で、国保が8.0%、社保が7.5%の増、老人保健診療報酬は、2.6%の減となり、収入全体では、2.7%の減

となりました。

7 老人保健特別会計

老人保健受給対象者は、3045人で4.5%の減少となり、医療費は前年度比で2.7%の増加となりました。

8 介護保険特別会計(保険事業勘定)

平成12年度から始まった介護保険制度も、その内容が周知され、地域住民に定着してまいりました。制度の浸透とともに認定者数・利用者数が増加し、保険給付費は対前年度比で2.5%の増となりました。

9 簡易水道特別会計

建設事業としては、大簡易水道基幹改良事業、本村簡易水道統合事業について平成18年度工事実施のための測量設計を実施しました。

10 香々美簡易水道特別会計

有収率の向上と適正運営に努め、剰余金を計上しました。

11 農業集落排水事業特別会計

供用開始している農業集落排水処理区は7処理区で、その維持管理業務を実施しました。平成18年3月末現在の水洗化率は、7処理区全体で7